

## 令和4年度 研究ゼミ シラバス

令和4年度の研究ゼミでは、以下のスケジュールを予定しております。

研究ゼミは、原則としてスタンダードゼミと同日の午前中（10:15～12:25）に開催しますが、特別課外プログラムは平日に開催します。

令和4年度は、研究ゼミメンバー合同執筆書籍『通達のチェックポイントー加算税裁判事例精選 20ー（仮）』の制作を軸とします。加算税通達関連の事例を中心に、1人1事例（進捗や原稿の内容が良好な場合には複数事例の場合もあり）を取り上げて、執筆作業を進めます。

日時	場所など	内容等
4月16日(土) 10:15～12:25 *以下土曜日開催は同時間	スタンダードゼミ会場 又は近辺 *以下「ゼミ会場」と表記	・先行している令和3年度研究ゼミを開催しています。 ・観覧席を設けますので、研究ゼミご入会を検討中の方は是非ご参加ください（参加無料）。
6月18日(土)	ゼミ会場	・Aグループメンバーによる発表と指導
	会場近辺	・昼食兼懇親会 *ゼミが終わり次第、懇親会会場へ全員で移動 *コロナ情勢に応じ延期・中止の場合有り
5月又は6月(平日)	国会議事堂見学&懇親会 (特別課外プログラム)	・国会議事堂見学をした後、懇親会予定 *コロナ情勢に応じ延期の場合有り
7月9日(土)	ゼミ会場	・Bグループメンバーによる発表と指導
9月10日(土)	ゼミ会場	・Aグループメンバーによる発表と指導
10月8日(土)	WEB開催 *zoomにて開催	・Bグループメンバーによる発表と指導
11月12日(土)	ゼミ会場	・Aグループメンバーによる最終発表と指導
12月17日(土)	ゼミ会場	・Bグループメンバーによる最終発表と指導
	会場近辺	・昼食兼懇親会 *ゼミが終わり次第、懇親会会場へ全員で移動 *コロナ情勢に応じ延期・中止の場合有り
翌1月(土)	ゼミ会場	・書籍化に向けての最終校正

### \* 令和4年度から新しく参加される方へ

論文作成には一定の作法（ルール）があります。論文作成がはじめての方でもスムーズに参加いただけるよう、下記の2本の動画を無料でご視聴いただけますので、こちらをご覧になった上で各自の事案検討に進むことをオススメいたします（既にご受講済みの方も、再度ご視聴いただけます）。

- ① 酒井克彦教授による「論文の書き方講座」の動画（第49回研究ゼミ公開講座）
- ② 酒井教授・臼倉真純上席主任研究員が論文作成のためのイロハ（判決の表記方法、引用のマナー、資料探しのコツなど）を解説した動画（第50回研究ゼミ）

### 研究ゼミとは

- ・研究ゼミは、租税法研究会とは異なり、「租税論文を書くこと」を目標としたゼミ形式の研究会です。租税法に関する論文を書くための基礎知識や、判例や資料の探し方、酒井教授からの論文構成等に関する指導等を通じて、「論文」というアウトプット作業に励みます。
- ・サポート水準を維持する観点から人数に制限を設けております（最大 15 名程度）。今回、令和 4 年度の開始に当たり、5 名を上限に追加メンバーを募集します。
- ・平成 29 年には、研究ゼミメンバーによる共同執筆書籍『税理士業務に活かす！通達のチェックポイントー法人税裁判事例精選 20ー』を刊行しました（第一法規 2017）。その後、続編『所得税法編』（平成 30 年）、『相続税編』（令和元年）を刊行し、令和 2 年度は消費税軽減税率に係る書籍（令和 4 年上旬発売予定）、令和 3 年度は加算税をテーマに書籍執筆を行っております。

### 研究ゼミ参加に当たって

- ・メンバーはAグループとBグループの2つに分かれ、スケジュールに沿って原稿の提出と当日の発表をしていただきます（グループ分けは後ほどお知らせいたします。）。Aグループは、5月・9月・11月・1月、Bグループは6月・10月・12月・1月が発表回になります。各グループ年間4回の発表がありますので、これを目安にご用意していただくことで定期的に執筆を進めていくことが可能です。
- ・ご自身の発表回におきましては、研究ゼミ開催日の**1週間前（厳守）**に事務局宛に Word 原稿をご提出ください。ご自身の発表回でないときは、必要に応じてご提出ください。
- ・ゼミ当日は、発表グループメンバーから上記資料を基に発表をしていただき、酒井克彦教授・臼倉真純上席主任研究員からの論文執筆のアドバイスや論点整理、他のメンバーとの意見交換などを行います。**発表グループの方は必ずご発表をお願いします。**発表グループでない方は、ゼミの最後に進捗確認や疑問点等整理の時間を設けますので、必要に応じてご質問等をしていただけます。
- ・執筆活動には**継続性が重要です。**研究ゼミ当日の参加が難しい場合であっても、「スケジュールに沿って原稿だけは送る」ことを、ぜひ心がけてください。会場参加が難しい場合、ハイブリッド開催による zoom 参加もご利用くださいませ。
- ・発表者がやむを得ず欠席される場合、原稿を確認の上、当日酒井教授からのコメント等を収録しますので、後日の欠席フォロー配信をご覧ください。また、欠席の場合には、提出いただいた原稿に酒井教授や臼倉研究員からメモ書き等を加えお返しします。
- ・教科書として、酒井克彦『フォローアップ租税法 租税法研究の道しるべ』（財経詳報社 2010）を使用しますので、ご用意をお願いします。

### 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・現時点（令和 4 年 4 月 6 日現在）では、会場等での開催+同時 zoom 中継のハイブリッド開催を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、web 開催のみとさせていただくこともございます（10 月 8 日は web 開催になります。）。また、特別課外プログラムの内容や日程等については、適宜変更させていただく場合もございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。当日は必ずマスクをご着用いただき、入り口での検温と手指消毒にご協力くださいませ。

### 昼食兼懇親会について

- ・会場近辺のレストラン等で昼食兼懇親会を開催することもございます。当日は昼食等を持参せず、ぜひ懇親会にご参加くださいませ（強制ではございません。昼食代は各自別途負担）。

#### 受講資格・受講料・会員特典について

- ・対象者：租税法研究会、プロゼミの両方を受講しているファルクラムのゼミ会員（追加募集メンバー5人まで）。\*プロゼミ会員でない方は、併せてプロゼミへご入会くださいませ（プロゼミ受講料1回1万円・年間8万円）。
- ・受講料：1回3万円（年間8回開催）…受講料は研究ゼミ開催月のみ負担（年間24万円）  
\*なお、特別課外プログラム参加時の実費相当は受講料には含まれません。
- ・会員特典：研究ゼミ会員は、特典として、ファルクラムのレクチャー会員の年会費（3万円）、基礎レクチャーの受講料（年間約3,000円）、応用レクチャーの受講料（年間約10万円）、ファルクラムのオンラインフォーラムの会費（年間3万6,000円）の総額約16万9,000円相当が無料となります。  
\*隣接業法レクチャーなど、レクチャーの一部には対象外のものもございます。

#### 6月・7月の発表について

- ・6月はAグループ、7月はBグループの各メンバーにご発表いただきます。別途お伝えします事案について、**下記の内容をまとめた原稿を、事務局へ開催日1週間前にご提出くださいませ。**

**\*\* 発表していただく内容 \*\***

- ① 事案の概要
- ② 争点
- ③ 判決の要旨（要約ではなく、カギカッコで原文通り引用）
- ④ 今後の検討の骨子・予定・疑問点
- ⑤ 読む予定の論文・判例評釈・参考とする判決のリスト一覧

以上